

予算でチェック!! 淀川区のまちづくり

平成27年度
予算案を編成
しました



予算を見れば淀川区がどのようなまちづくりをするのかが見えてきます。
新しい事業から拡充する事業まで、イチオシの5事業をご紹介します!

淀川区の平成27年度予算額 3億9,068万円 [前年比+646万円]

その1 車上ねらい対策を進めます

新規☆☆

予算額:500万円
駐車場防犯カメラの設置補助金を交付し「安全・安心」最優先のまちづくりを強化します。



その2 小学校での補習充実を支援

新規☆☆

予算額:155万円
学習習慣の定着と基礎学力の向上を目的に、区内小学校での放課後の補習の充実を支援します。



その3 生活困窮家庭の学習支援

新規☆☆

予算額:302万円
生活困窮家庭の中学生向けに学習指導やキャリア教育を実施し、自立できる力を育てます。



その4 コミュニティ回収の取組みを支援

新規☆☆

予算額:308万円
資源ごみ回収に取り組む地域活動協議会を支援し、自主財源確保とごみの減量をめざします。



その5 広報誌の全戸配布をスタート

充実↑↑

予算額:3,751万円
今まで広報誌が届いていなかったご家庭にも、確実・迅速に役立つ情報をお届けします。



区シティ・マネージャー予算 当初予算額 9億7,797万円

シティ・マネージャー予算とは?

区長の権限で執行できる大阪市の各局予算です。

(主な事業)

- 要援護者の見守りネットワーク強化 予算額:2,966万円
地域の要援護者の情報を活用して、きめ細やかな見守りネットワークの実現をめざします。
- 放置自転車対策 予算額:5,080万円
駅周辺の放置自転車対策を進め、安全で快適な環境をつくります。

平成27年度予算事業一覧など、詳細はコチラ → [淀川区 予算](#)

問合せ総務課 5階51番 ☎6308-9625

淀川区役所 × NPOノーベル協働事業

おうち訪問型病児保育を突撃レポート!

働く親の大きな悩みである「子どもの急な病気」。仕事の都合はおかまひなしに、熱を出したりおう吐したり。病児保育ってどうなの?の疑問・不安にお答えします!

0歳保育園児 病欠年30日!? 入園前に何を準備すべき?



利用者向け説明会では、実際の保育の様子を映像で見られたり、病児保育に向う保育スタッフによる託児もあるので、会って話すこともできる。

保育園に入ったばかりのお子さんは免疫も少なく、すぐ風邪をもらってしまうもの。急な病気はどう対応するか、家族で相談し、仕事を休みづらい場合は、病児保育などのサポートに事前登録しておきましょう。当日朝8時までの依頼なら100%預けられ、感染症もOK、お子さんも慣れた自宅で過ごせて安心です。いざという時に慌てないよう今から準備を。



詳細はホームページへ

[ノーベル 病児保育](#)

<http://nponobel.jp/service/yodogawa/>



編集後記

3月に入りました。4月から新天地に向かう方にとっては、新しい生活への期待と不安が交錯するシーズンですね。今月号のよどじんは自動車教習所にお邪魔しました。わが身を振り返ると、その運転マナーに反省しきりです…。これを機に初めて免許を取得した頃の気持ちを思い出し、安全運転を心がけたいと思います。新年度も区民の皆さまにとって素晴らしい船出となりますように。ではまた次号で。(広報担当)



▲僕が生まれる前から走っているんだね!

【広報誌の配布方法】 区広報誌「よどマガ!」は、毎月1日(休刊日は翌日)の新聞(朝日・毎日・読売・産経・日本経済・大阪日日新聞)朝刊に折込でお届けしています。また、淀川区ホームページ(<http://www.city.osaka.lg.jp/yodogawa/>)でもご覧いただけます。これらの新聞を購読されていない方で、配送をご希望の場合は、お申出ください。ただし、配送には数日間かかる場合があります。点字・音訳版もあります。申込は、淀川区役所政策企画課(☎6308-9404)まで。